

2010年3月17日

報道関係者各位

シーメンス旭メディテック株式会社

シーメンスが新世代の画像解析処理システム“syngo.via”で 日本市場シェア拡大を目指す

自動的に解析処理画像を表示し、画像診断ワークフローを改善

シーメンス旭メディテック株式会社(本社:東京都品川区、社長:ルイ・ブランダオ、以下シーメンス)は、2D、3D、4Dの臨床画像を自動で迅速に表示する新世代の画像解析処理システム“syngo.via”(シンゴ・ビア)および同システムをベースとする新 PACS¹システム“syngo.plaza”(シンゴ・プラザ)を今春より発売開始します。両製品は、4月9日から11日にパシフィコ横浜で開催される国際医用総合画像展にて、正式に日本市場へ紹介されます。

近年、医療機関で撮影されるCTやMRI等の画像がフィルムレス化してきた利点がある一方で、各撮影装置の高性能化による画像データの膨大化、それに伴う転送時間や処理の煩雑さなどを解決するための新たなニーズが顕在化しています。シーメンスはこれらのニーズにお応えすべく約10年ぶりにGUI(Graphic User Interface)のプラットフォームの刷新を行ない、これからの10年間を見据えた全く新しいコンセプトの画像解析処理システムを開発しました。今後、画像撮影装置と同様、シーメンスが注力する製品のひとつとして位置づけ、日本の画像解析処理システム市場でのシェア拡大を目指します。

syngo.via は、モダリティの急速な性能向上によって大量生成されるようになった画像データを自動的に処理し、臨床的に優位性のあるデータを表示する、新世代の画像解析処理システムです。従来から、画像診断のワークフローにおける基本構成は、1)検査として患者様を撮影し、画像を作成するモダリティ(CT、MRI、PET等の画像診断機器)、2)その画像を管理する PACS、3)解析画像等を作成するポストプロセッシングシステムの3つのカテゴリから成り立ってきました。syngo.via はそれらのいずれにも属さない4番目のカテゴリを切り拓くことになる最初の製品です。

たとえば心臓の3D画像の場合、従来では臓器の観察の邪魔になる骨や血液の塊まりの削除や血管抽出などに多くの時間と労力を必要としていました。syngo.via は、これらの作業をワンクリックで読影準備が可能な状態にします。また、従来は放射線科部門向けに生成されていた画像データが、各診療科の外来にある端末でも自由に利用できるようになるため、医師から病状や治療方針等の説明を受ける際にも、3D画像等を使った表示で理解しやすくなります。さらに、MRI、CT、PET・CTなどの画像データをクロスモダリティの概念で一元管理し、各診療科との情報共有を可能にすることで、院内全体における診断の効率および質の向上に貢献します。また、遠隔医療や地域医療連携などへの展開も視野に入れていきます。

syngo.via の3つのベネフィット

① 自動による最適な画像処理

検査種別ごとに最適な画像処理を自動的に行なうとともに、症例に応じたレイアウトや、画像の並び替えなどの機能を用いて表示させます。これにより、読影のために必要な数々の人的プロセスを省略できます。

② 既存インフラを用いてアクセス可能に

クライアント端末への負荷の少ない Client Server Technology により、病院の既存インフラや端末から、各モダリティの画像情報にアクセスすることが可能となります。

③ 既存の PACS とのシステムインテグレーション

PACS や HIS/RIS²との連携機能により、院内の既存端末に相乗りして、機能を使用することができます。また、弊社の PACS“syngo.plaza”と併用することで、ゼロクリックインテグレーションが可能となります。

シーメンスは、医師、医療従事者のワークフローの効率化を通じて、医療現場で求められるスピードに応え、医師がより多くの時間を患者様と向き合える医療環境の提供をサポートします。

1. PACS=Picture Archiving and Communications System 医療用画像情報システム
2. HIS/RIS=Hospital Information System 病院情報システム/ Radiology Information System 放射線科情報システム

■ シーメンス旭メディテック株式会社について

シーメンス株式会社と旭化成株式会社医療機器事業との合併会社です(資本金 2,082,020 千円)。主に欧州、米国のシーメンス製品の輸入、販売、メンテナンスサービス業務を通し、より多くの人々に最新の医療環境を提供しています。詳細情報は、www.siemens.co.jp/healthcare/にてご覧いただけます。

■ シーメンスヘルスケアセクターについて

シーメンスヘルスケアセクターは、ヘルスケア産業における世界最大のサプライヤーの一つであり、画像診断、ラボラトリー診断、医療情報技術、そして補聴器における先駆者です。シーメンスは、予防、早期診断、そして、治療からアフターケアにいたる患者さま治療の全範囲にわたってお客様に製品とソリューションを提供しています。

最も一般的な疾患のための臨床ワークフローの最適化を図ることにより、シーメンスは、ヘルスケアをより迅速に、より良く、また費用効率を高いものにしています。シーメンスヘルスケアは、約 4 万 8,000 人の従業員を擁し、世界中で事業を行っています。2009 年度(2008 年 10 月 1 日から 2009 年 9 月 30 日まで)、シーメンスヘルスケアの売上高は 119 億ユーロ、営業利益は 15 億ユーロでした。詳しい情報は、www.siemens.com/healthcare でご覧いただけます。

<本件に関するお問い合わせ>

シーメンス旭メディテック株式会社
マーケティングコミュニケーショングループ
担当: 和木 美穂子
TEL: 03-5423-8420 FAX: (03) 5423-8494
Email: mihoko.waki@siemens.com

シーメンス株式会社 コミュニケーション部
広報担当 山本 真紀
TEL: 03-5423-8513
Email: maki.yamamoto@siemens.com

